

1/24
FRI

自慢の歌声を披露 老連カラオケ大会



老人クラブ連合会主催の「新春カラオケ大会」が、中央公民館大ホールで開催され、昨年度より8名多い、36名のカラオケ愛好家が自慢の歌声を披露しました。出演者は艶やかな着物やドレス、スーツの衣装に身を包み、得意な曲を約300人の観客の前で力いっぱい熱唱しました。また、お楽しみ抽選会も行われ、ステージと観客が一体となって盛り上がりました。



おめでとう
ございます！



1月28日（火）に、100歳を迎えられた久野かず子さん（加納）のもとを藤井町長が訪問し、ばらの花束などお祝いの品を贈りました。

久野さんは、普段、新聞を読んだり、畑仕事をして過ごされているとのこと。食事は好き嫌いなく、なんでも召し上がるそうです。

「周りの助けがあって100歳を迎えることができた」と感謝されていました。

2/1
SAT

在宅医療・介護連携 シンポジウム



安八郡広域連合主催の「在宅医療・介護連携シンポジウム」が役場大会議室にて開催され、一般の方や、医療・介護関係者など、90名が参加されました。

（公社）地域医療振興協会いびがわ診療所 西脇健太郎所長を講師に迎え、あなたらしい人生の最期について話し合う「ACP（人生会議）」の大切さについてご講演いただきました。

参加者は「自分の望む生き方を実現するために、今回学んだことを実践していきたい」と話されました。

1/30
THU

豆腐作りに挑戦



北小学校の3年生が「Aにしみの女性部ふるさと隊の皆さんの指導のもと、豆腐作りに挑戦しました。

材料の大豆には、7月初めの種まきから収穫まで、児童ら自身で行ったものを使用。

大豆から絞りだした豆乳は豆腐に、残ったおからはドーナツにし、素材を余すことなく調理しました。

児童は「自分たちで育てた大豆を使っている分、いつもよりおいしく感じた」と話していました。

じつじつの
「今」をお届けします

まちのわだい

更新中！
ぜひ
ご覧ください



Facebook



Instagram

2
4
TUE

神戸町第6次総合計画の 答申を受けました



町は、令和7年度からの10年間の将来像を定めた「神戸町第6次総合計画」について、神戸町総合計画審議会より答申を受けました。この日、最後の審議会が開かれ、審議会の藤井えりの会長（岐阜協立大学准教授）から藤井町長に答申書が手渡されました。

町では、第6次総合計画における、まちの将来像を「みんなの笑顔 未来へつなごう とともに支えあうまち ごうど」とし、子育て支援を中心にした持続可能なまちづくりを進めていきます。

2
3
MON

健康フェスティバル



町保健センター主催「健康フェスティバル」をばらの里において開催しました。

腎臓に関するクイズラリーや、館内喫茶店による減塩野菜炒めの提供、骨密度や野菜摂取量の測定会、フレイル簡易チェックなど、様々な企画を行い、会場は大勢の来場者でにぎわいました。

来場者は「自分の健康を見つめなおすいい機会になりました」「早速今日の晩御飯に学んだことを活かしたい」と話していました。

2
10
MON

協立大学ヘッドコーチによる サッカー教室開催



下宮小学校において、岐阜協立大学サッカー部でヘッドコーチを務める井出大介さんを講師にサッカー教室が開かれ、3・4年生の児童32人が参加しました。

ボールを使った簡単なレクリエーションやドリブルの練習方法を教わった後、6つのチームに分かれてミニゲームを行いました。

参加した児童は「たくさん体を動かすことができ楽しかった」「休み時間など、クラスの仲間とまたサッカーしたい」と話していました。

2
6
THU

工夫を凝らして献立作成



神戸町食生活改善協議会が自主献立発表会を開催しました。この発表会は、食を通じた健康増進の普及・啓発活動の集大成として行っているもので、毎年、様々な工夫を凝らした料理が保健センター調理室に並びます。

今年度のテーマは「家族のお祝い御膳」。5つの班に分かれて献立を立て、調理されました。

今回考案された料理のレシピは、広報ごうど「ヘルシークッキング」のコーナーで紹介していきます。

2/14
FRI

大垣西濃信用金庫様から 寄附をいただきました



大垣西濃信用金庫様より、同金庫創立100周年記念事業「未来（あした）をつなぐ」の一環として、企業版ふるさと納税制度を活用した寄附金50万円をいただきました。

寄附金は「高校生世代通学定期券購入助成事業」の財源の一部として活用させていただきます。贈呈式で小川章理事長は「当金庫をご愛顧賜っている地域の皆様に貢献することができてうれしく思います」と話されました。

全国広報コンクール(一枚写真の部) 県推薦作品に選出されました



広報ごうど令和6年7月号の表紙が、令和7年全国広報コンクール県推薦作品に選出されました。

全国広報コンクールとは、地方自治体等の広報活動の向上を目的に、全国広報協会が各種広報作品について審査を行うものです。

これからもより見やすく、伝わりやすい広報紙作成に努めてまいります。

2/5
WED

帝人労働組合揖斐川支部様 より寄附をいただきました



帝人労働組合揖斐川支部様より子育て支援事業「愛の1円募金」として、20万円のご寄附をいただきました。

寄附金は、町内4幼児園の備品（キックバイク22台）購入費用に充てさせていただきました。

同組合の棚瀬支部長は「自分の住む町の事業に貢献することができ、大変うれしいです」と話されました。



2/12
WED

中学生が フレイルについて学ぶ



神戸中学校3年生が、町フレイルサポーターを講師に、加齢により生活機能や認知機能が低下した状態「フレイル」について学びました。

生徒はフレイルについての説明を聞いた後、地区の公民館などで高齢者向けに行われている「フレイルチェック」（加齢に伴う機能の低下度合を診断するテスト）を体験。握力テストや筋肉量の測定、片足立ち上がりテストを行い、結果をチェック表に記入しました。

参加した生徒は「家で祖父母を誘い、一緒にチェックを行うなど、今回学んだことを今後に活かしたい」と話していました。

まちのわだい